

近畿圏の物流に関するアンケート実施結果について 【事例紹介】

アンケート回答事例①【製造業】

【企業概要】

企業名：A社
業種：製造業
製品：エンジン部品
従業員規模：100人以上

【アンケート回答内容の概要】

問		回答内容
問4	ルート決定者	事業所内担当者
	決定理由	コストを重視して判断
問5	物流面で重視する項目	1位：港湾や海上輸送のコスト(達成) 2位：輸送時間の信頼性(達成)
問8	将来的に海外展開または拡大をしたいと思う理由	・事業規模を広げたい ・仕入れ先の生産拠点が海外に移転したため

【問3. 国内での取引(移出・移入)および海外との取引(輸出・輸入)をされている貨物】

区分	品目	貨物量	納入/仕入れ先の市区町村名	取引先	利用港湾/空港	物流上の課題のある区間	物流上の課題
輸出	自動車部品	—	—	—	—	—	—
移出	自動車部品	1,000トン/年	橋本市	国内企業	—	陸上輸送【コンテナ車以外】(国内)	輸送については外部委託等をしているため不明
移入	鋼材	7,200トン/年	名古屋市	国内企業	—	陸上輸送【コンテナ車以外】(国内)	災害時等の代替輸送手段やルートの確保
移出	自動車部品	4,000トン/年	京丹後市	国内企業	—	陸上輸送【コンテナ車以外】(国内)	災害時等の代替輸送手段やルートの確保

【問9. 海外展開(既進出事業の拡大含む)したい国及び問題、想定される貨物量】

区分	品目	貨物量	展開先の国/都市	海外展開にあたっての問題点
輸出	自動車部品	1,000トン/年	タイ(シラチャ)	・海外展開に関する専門的な知識を身に付ける公的な講習が無い ・現地の人材の確保が困難

【問10. 物流戦略チームへの物流に対する施策ニーズ】

無回答

アンケート回答事例②【小売】

【企業概要】

企業名：B社
業種：小売（アパレルメーカー）
製品：アパレル
従業員規模：30～99人

【アンケート回答内容の概要】

問		回答内容
問4	ルート決定者	事業所内担当者
	決定理由	輸送時間を重視して判断
問5	物流面で重視する項目	1位：空港や航空輸送のコスト（未達成） 2位：その他（港湾や海上輸送に係わる輸送時間と柔軟性（出航頻度））（未達成）
問8	将来的に海外展開または拡大をしたいと思う理由	・事業規模を広げたい

【問3. 国内での取引（移出・移入）および海外との取引（輸出・輸入）をされている貨物】

区分	品目	貨物量	納入/仕入れ先の市区町村名	取引先	利用港湾/空港	物流上の課題のある区間	物流上の課題
輸出入	衣服・身回品・はきもの	12トン/年	中国（広州）	海外現地の外国籍企業	広州空港⇄成田・関空	航空機輸送（国際間）	製造拠点や物流拠点の集積（現状分散しているため、輸送時間がかかる、コスト高である など）

【問9. 海外展開（既進出事業の拡大含む）したい国及び問題、想定される貨物量】

区分	品目	貨物量	展開先の国/都市	海外展開にあたっての問題点
—	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の取引先候補はあるが、コンテナ化できるほどの貨物量が確保できない ・貨物輸送を依頼できるフォワーダーが分からない ・現地で事業を実施する上での法的な制約 ・製品等の品質確保が困難 ・海外展開にあたっての法令に関する情報収集が困難 ・現地の人材の確保が困難

【問10. 物流戦略チームへの物流に対する施策ニーズ】

EMSのリアルタイム口座利用が出来るようになって欲しい。・海上輸送に係る時間をどれだけ短縮できるか、又どれだけ小ロットでかつ多頻度で輸送できるかを一緒に考えて下さい！

アンケート回答事例③【卸】

【企業概要】
 企業名：C社
 業種：卸売
 製品：化粧品
 従業員規模：100人以上

【アンケート回答内容の概要】

問		回答内容
問4	ルート決定者	輸送委託先
	決定理由	外部委託等の理由により不明
問5	物流面で重視する項目	1位：港湾や海上輸送のコスト(達成) 2位：港湾における待機時間(達成)
問8	将来的に海外展開または拡大をしたいと思う理由	・事業規模を広げたい ・国内市場に限界を感じているため

【問3. 国内での取引(移出・移入)および海外との取引(輸出・輸入)をされている貨物】

区分	品目	貨物量	納入/仕入れ先の市区町村名	取引先	利用港湾/空港	物流上の課題のある区間	物流上の課題
輸出	その他化学工業品	15トン/年	香港	海外現地日系企業	大阪港⇒香港港	—	・輸送については外部委託等をしているため不明
輸出	その他化学工業品	75トン/年	京畿	海外現地の外国籍企業	大阪港⇒釜山港	—	・輸送については外部委託等をしているため不明

【問9. 海外展開(既進出事業の拡大含む)したい国及び問題、想定される貨物量】

区分	品目	貨物量	展開先の国/都市	海外展開にあたっての問題点
輸出	その他化学工業品	100トン/年	シンガポール	・海外展開にあたっての法令に関する情報収集が困難 ・現地の人材の確保が困難

【問10. 物流戦略チームへの物流に対する施策ニーズ】

無回答

アンケート回答事例④【物流】

【企業概要】

企業名：D社
業種：物流
従業員規模：30～99人

【アンケート回答内容の概要】

問		回答内容
問4	ルート決定者	事業所内担当者
	決定理由	輸送時間とコストの両面から判断
問5	物流面で重視する項目	(順位記入無し) ・港湾や海上輸送のコスト(未達成:海上輸送の手段が決まっている為。選択肢が少ない為)
問8	将来的に海外展開または拡大をしたいと思う理由	・事業規模を広げたい ・国内市場に限界を感じているため

【問3. 国内での取引(移出・移入)および海外との取引(輸出・輸入)をされている貨物】

区分	品目	貨物量	納入/仕入れ先の市区町村名	取引先	利用港湾/空港	物流上の課題のある区間	物流上の課題
移出	電気機械	6,000トン/年	沖縄	国内企業	大阪港⇒那覇港	陸上輸送【コンテナ車以外】(国内)	・集貨トラックの確保
移出	製造食品	5,000トン/年	沖縄	国内企業	大阪港⇒那覇港	陸上輸送【コンテナ車以外】(国内)	・集貨・配送のトラックの確保

【問9. 海外展開(既進出事業の拡大含む)したい国及び問題、想定される貨物量】

区分	品目	貨物量	展開先の国/都市	海外展開にあたっての問題点
輸出	製造食品	60トン/年	台北	・海外展開に関する専門的な知識を身に付ける公的な講習が無い ・現地の人材の確保が困難
輸出	その他食料工業品	100トン/年	上海	・海外展開に関する専門的な知識を身に付ける公的な講習が無い ・現地の人材の確保が困難

【問10. 物流戦略チームへの物流に対する施策ニーズ】

無回答

アンケート回答事例⑤【協同組合】

【企業概要】
 企業名：E社
 業種：協同組合（青果）
 従業員規模：100人以上

【問3. 国内での取引（移出・移入）および海外との取引（輸出・輸入）をされている貨物】

【アンケート回答内容の概要】

問		回答内容
問4	ルート決定者	事業所内担当者
	決定理由	輸送時間とコストの両面から判断、コストを重視して判断
問5	物流面で重視する項目	1位：港湾や空港輸送以外に係るコスト（未達成：トラック輸送に係るコスト（運賃）が増高しているが、販売価格への転嫁が進んでいない） 2位：効率性（未達成：納品先別に車両を替えざるを得ず、行先（方面）が同じでも、車両の集約ができない（納品先の意向）。従来とくらべ、取扱いが増加しており、物流の作業性が上らない） 3位：輸送時間の信頼性（未達成：出発前に荷揃えが出来ない場合があるため）
問8	将来的に海外展開または拡大をしたいと思う理由	その他（高単価での販売が可能）

区分	品目	貨物量	納入/仕入れ先の市区町村名	取引先	利用港湾/空港	物流上の課題のある区間	物流上の課題
移出	野菜・果物	10,000トン/年	大阪市、京都市等	国内企業		(国内)	・自社の施設の更新（自社施設が手狭） ・運送事業者等の人手不足への対応（トラックドライバー確保、積載方法） ・輸送については外部委託等をしているため不明
—	野菜・果物	30,000トン/年	大阪市等	国内企業		(国内)	・輸送については外部委託等をしているため不明
—	野菜・果物	24,000トン/年	東大阪市等	国内企業		(国内)	・自社の施設の更新（自社施設が手狭） ・運送事業者等の人手不足への対応（倉庫内作業員の確保、物量の把握） ・道路等のインフラの補修
—	野菜・果物	13,000トン/年	大阪市等	国内企業		(国内)	・その他（納入時の付帯作業の負担（箱へのシール貼付等））
—	野菜・果物	600トン/年	山形県	国内企業		(国内)	・製造拠点や物流拠点の集積（遠隔地の輸送コスト）

【問9. 海外展開（既進出事業の拡大含む）したい国及び問題、想定される貨物量】

【問10. 物流戦略チームへの物流に対する施策ニーズ】

区分	品目	貨物量	展開先の国/都市	海外展開にあたっての問題点
輸出	野菜・果物	100トン/年	シンガポール	・製品等の品質確保が困難
輸出	野菜・果物	100トン/年	タイ	・製品等の品質確保が困難
輸出	野菜・果物	100トン/年	香港	・製品等の品質確保が困難

商品特性（荷姿、大きさ等が様々）から、同業等との共同配送等が進まない。ニーズはあると思われるが、牛乳や製パン業界で実施されている情報共有の仕組み（業界の風土含む）がない。・販売先の様々な要求に運送業界（特に小規模）が対応できなくなって来ている（ドライバー不足、会社組織のせい弱さ）。